

商工情報

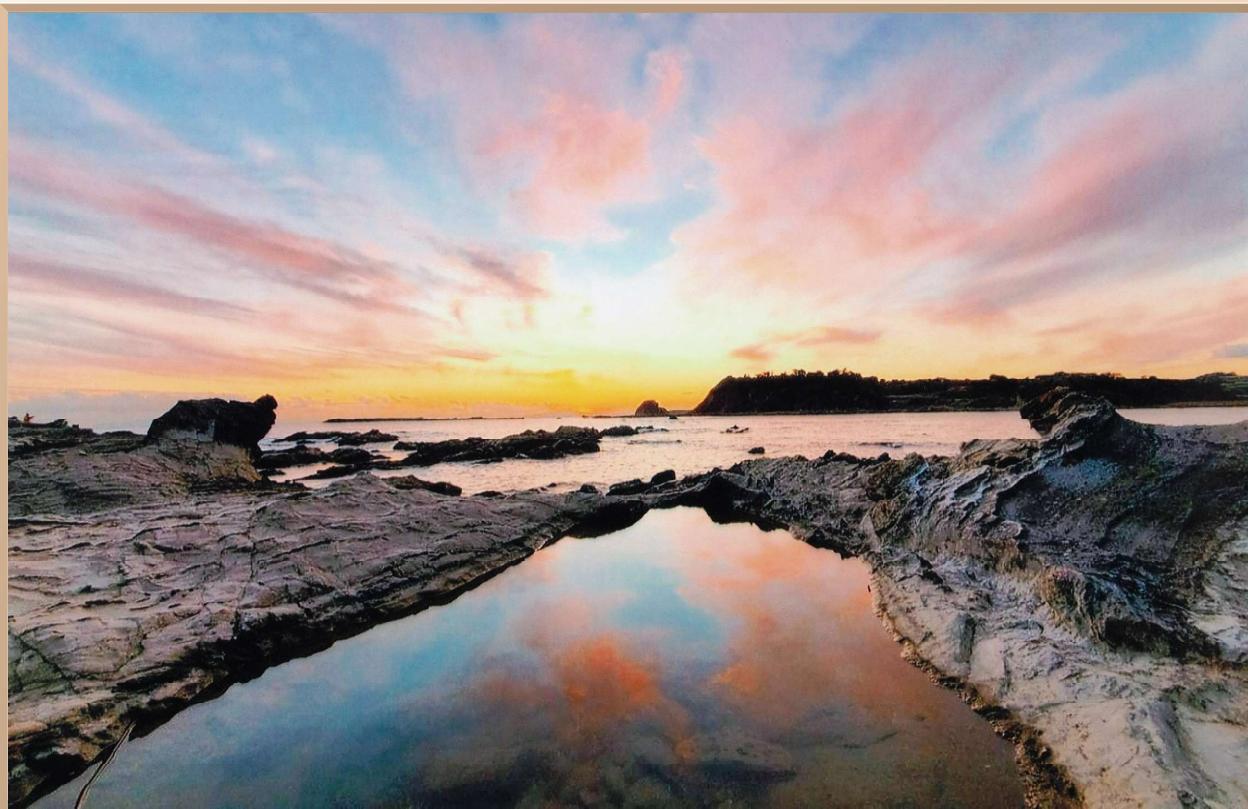
みうら

MIURA CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY

2023 March

3

発行所 三浦商工会議所
発行人 山下芳夫
三浦市三崎3丁目12番19号
代表 Tel.046(881)5111 Fax.046(881)3346
年間購読料2,400円会費より徴収済み



櫻井正則の会特別賞 南下浦中学校1年 望月 夕杏(ゆあ)さん「潮溜りの夕焼け」

海洋教育 夏休み 写真コンテスト

講評：まるでオーロラのような色の空が、鏡のように海に反射して見えます。夕陽・雲・海の3つのコラボレーションが素晴らしい景色を作りだしています。この光景に出会ったら、思わず見とれてしまうでしょうね。三浦の海の絶景です。

本表彰は、(一社)みうら学・海洋教育研究所、三浦市、三浦市教育委員会、東京大学三浦臨海実験所が主催し、(一社)櫻井正則の会の助成を受け、市内在学の小中学生から「三浦の海のすばらしさを発見しよう！」をテーマに募集したものです。※学校名・学年は受賞時のものです。

CONTENTS

- ② * 神奈川県優良産業人表彰
* 市議会正副議長との懇談会
- ③ * 議員例会講話
- ④・⑤ * 三浦商工会議所景気調査
- ⑥ * 優良従業員表彰 * インボイス制度が開始されます
- ⑦ * 議員職務執行者変更のお知らせ * 部会開催報告
* 新会員紹介 * 確定申告指導について
* L O B O 調査 * 三浦市経済対策利子補給金 他
- ⑧ * おじやまします * 各種相談日程 他
- 付録① * 創業応援セミナーのご案内
- 付録② * 身近な活用事例から学ぶ～DXはじめの一歩～
- 付録③ * インボイス制度支援措置のお知らせ

常議員会・議員例会・通常議員総会

[3月]
常議員会 3月22日(水) 11時00分～
通常議員総会 3月28日(火) 15時00分～

[4月]
常議員会 4月18日(火) 11時00分～
議員例会 4月18日(火) 12時00分～

各会議開催予定

組織財政委員会 3月中旬
漁港経済活性化委員会・水産商工部会合同会議
3月下旬

浅葉 洋介 氏
(有)浅葉塗装工業所大谷 謙二郎 氏
(株)おおたに岩崎 剛氏
お好焼とも石坂 太郎 氏
(有)金子慈光堂千野 博孝 氏
三崎魚類(株)

神奈川県優良産業人表彰 ～三浦市より5名が受賞～

毎年、神奈川県内において企業を経営する事業主または企業に勤務する従業員のうち、地域商工業の振興に寄与し、特に優れた方を「神奈川県優良産業人」として神奈川県知事並びに神奈川県商工会議所連合会会頭の連名で表彰しております。

当所では、表彰基準に基づき候補者の選考を行い、常議員会で承認された候補者を、経由して神奈川県に推薦。本年度は、上記の5名の皆様の受賞が決定いたしました。

表彰式は、2月1日(水)に神奈川県民ホールにおいて、3年ぶりに県内の受賞者が一堂に介し開催され、県内より集まった126名の受賞者の各地域代表者が、上野県連会頭より表彰状を受け取りました。

受賞された皆様の、今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。

1. 漁船誘致取組状況
2. 通学路の安全確保
3. 三浦市営水道と県営水道との統合について

1. 脱コロナの経済振興対策
2. 三崎まぐろの普及推進
3. 外国人観光客への対応
4. 二町谷埋立地の今後の事業計画
5. 京急電鉄の延伸への要望

【篠田副会頭】

1. 三崎漁港整備について
 2. 屋内イベント会場検討と駐車場確保について
- ▼三崎漁港は高度衛生化における、日本で初めての冷凍マグロ専用市場が整備された。これを新たな付加価値としてPRできればと思っている。

▼三崎漁港は高度衛生化における、日本で初めての冷凍マグロ専用市場が整備された。これが新たな付加価値としてPRできればと思っている。

- ▼京急の延伸については、現在計画が取り下げられた状況だが、延伸による本市への経済効果は大きく、引き続き要望活動ができるべきと思つていい。
1. 西海岸線道路整備・三浦縦貫道路の早期整備
 2. 通学路の安全確保
 3. 三浦市営水道と県営水道との統合について



三浦市議会正副議長と 商工会議所との懇談会開催

毎年恒例の市議会正副議長との懇談会を1月23日(月)に開催しました。この懇談会は、平成14年から市議会の経済対策特別委員会として開催されたのを契機に、平成18年から「市議会との懇談会」として毎年開催。今回も草間議長、小林副議長にご出席頂き、「三浦の経済振興」をテーマとして会議所の立場から意見を申し上げ懇談を行いました。

- この他
- 外国人観光客対応
- 二町谷埋立地の事業計画
- 屋内イベント
- 等についてコメントをいただいた後に
- ▼漁港である三崎漁港に観光要素を取り入れた『海業』としての活性化策について
- ▼西海岸線道路の事業化に伴い、橋梁自体が本市の大きな観光施設となりうること
- ▼橋梁建設には鉄道も併せて検討が必要であること
- ▼西海岸線から、二町谷、下町などへの観光連鎖
- ▼三浦海岸の活性化など、発に意見交換が行われ、有意義な意見交換会となりました。

神奈川県内の景況について



財務省関東財務局
横浜財務事務所 所長
西村 則人氏

2月21日(火)開催の議員例会では、財務省関東財務局横浜財務事務所 所長 西村則人氏をお招きし「神奈川県内の景況について」と題しお話しいただきました。

1. 経済情勢報告とは
財務省の地方機関である財務局及び財務事務所では、各地域の経済動向の現状及び先行きに係る調査・分析を行い、結果を公表するとともに、これを財務省に報告し、財政施策等に活用しています。

横浜財務事務所では、各種経済指標の分析や、県内様々な企業にヒアリングを実施し、「神奈川県の経済情勢報告」を年4回（4月、7月、10月、1月）発表しています。直近では、10月から11月（一部は12月）の各種統計デ

ーと、12月から1月にかけての県内企業等からのヒアリングをベースに「神奈川県の経済情勢報告（令和5年1月判断）」を発表いたしました。今回はその中から一部主要項目及び総括判断を抜粋し、ご紹介させていただきます。

◆個人消費
『物価上昇の影響はみられるものの、持ち直している』（据え置き）

コロナ第8波の影響で11月上旬から感染者数が増加傾向にありましたが、行動制限がなく、個人消費に与える影響は軽微でした。また、物価上昇により、一部業態で消費者マインドの低下を示す傾向が見え始めているものの、6月

2. 神奈川県の経済情勢報告
(令和5年1月判断)

（下方修正）
輸送機械（自動車等）において、供給面での制約（主に半導体不足）の影響は、以前よりも緩和されてきていている。半導体不足）の影響は、以前よりも緩和されつつあるという声もあり、工業生産指数をみると、輸送機械は増加しているものの、食料品・飲料は概ね横ばい、化学（化粧品等）及び生産用機械（半導体製造装置等）は減少しています。以上のことから、前回判断から下方修正といたします。

◆雇用情勢
『持ち直している』（据え置き）

数は概ね横ばいで、雇用保険

売上は前年を上回るなど、総じてモノ消費は好調でした。飲食・宿泊等のサービス消費も第8波の影響は一時的で、客数は前年を上回りました。以上のことから、前回判断（4年10月）から据え置きとしました。

◆生産活動
『一部に供給面での制約の影響がみられる中、持ち直しのテンポが緩やかになっている』（下方修正）
輸送機械（自動車等）において、供給面での制約（主に半導体不足）の影響は、以前よりも緩和されてきている。半導体不足）の影響は、以前よりも緩和されつつあるという声もあり、工業生産指数をみると、輸送機械は増加しているものの、食料品・飲料は概ね横ばい、化学（化粧品等）及び生産用機械（半導体製造装置等）は減少しています。以上のことから、前回判断から下方修正といたします。

『県内経済は、持ち直している』（据え置き）
各項目の判断を踏まえ、総括判断は前回判断から据え置きました。表現を「持ち直している」とするのは前回判断に引き続き2期連続となります。

受給者実人員は前年を下回っています。持ち直し基調が続いていることから、判断を据え置きました。

◆総括判断
『総括判断』
各項目の判断を踏まえ、総括判断は前回判断から据え置きました。表現を「持ち直している」とするには前回判断に引き続き2期連続となります。

【総括判断】

項目	前回(4年10月判断)	今回(5年1月判断)	前回比較
総括判断	供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している	持ち直している	➡

(注) 5年1月判断は、前回4年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

【各項目の判断】

項目	前回(4年10月判断)	今回(5年1月判断)	前回比較
個人消費	持ち直している	物価上昇の影響はみられるものの、持ち直している	➡
生産活動	供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している	一部に供給面での制約の影響がみられる中、持ち直しのテンポが緩やかになっている	➡
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	➡

3. 先行きについて

ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されます。ただし世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がありますと考えております。

三浦商工会議所景気調査

《調査概要》 ◎調査時期：令和4年12月～令和5年1月

◎調査方法：窓口調査・巡回調査・FAX調査 ◎回答企業：156社 内訳：建設業29件、製造業11件、卸売業10件、小売業19件、飲食業16件、サービス業41件、その他30件 ◎調査項目：業況感、売上高、営業利益、資金繰り、設備投資意欲の各項目について、前期(R3)との比較及び次期(R5)の見通しを ①良い、②やや良い、③不变、④やや悪い、⑤悪い のうちから回答するほか、当面の経営上の問題点について選択回答。

【業種別DI】（「良い」、「やや良い」と回答した事業者の割合から、「やや悪い」、「悪い」と回答した事業者の割合を引いた数値）

	業況感		売上高		営業利益		資金繰り		設備投資	
	前期比較	次期見通	前期比較	次期見通	前期比較	次期見通	前期比較	次期見通	前期比較	次期見通
全業種	-34.2% ↗ (-48.1%)	-32.9% ↗ (-33.6%)	-32.7% ↗ (-46.9%)	-37.7% ↗ (-39.5%)	-39.9% ↗ (-46.9%)	-42.7% ↗ (-48.8%)	-30.4% ↓ (-25.4%)	-29.5% ↗ (-31.6%)	-10.5% ↗ (-12.6%)	-8.5% ↗ (-14.9%)
建設	-25.0% ↗ (-55.6%)	-6.9% ↗ (-44.0%)	-17.9% ↗ (-66.7%)	-17.2% ↗ (-53.8%)	-25.0% ↗ (-66.7%)	-14.8% ↗ (-65.4%)	-30.8% ↓ (0.0%)	-7.4% ↗ (-37.5%)	0.0% ↗ (-21.7%)	0.0% ↗ (-18.2%)
製造	-81.8% ↗ (-100.0%)	-70.0% ↗ (-100.0%)	-81.8% ↗ (-100.0%)	-40.0% ↗ (-100.0%)	-72.7% ↗ (-87.5%)	-50.0% ↗ (-87.5%)	-54.5% ↗ (-62.5%)	-50.0% ↗ (-87.5%)	-18.2% ↗ (-25.0%)	-20.0% ↗ (-37.5%)
卸売	-20.0% ↗ (-100.0%)	0.0% ↗ (-62.5%)	-20.0% ↗ (-100.0%)	-10.0% ↗ (-62.5%)	-30.0% ↗ (-88.9%)	-40.0% ↗ (-62.5%)	-10.0% ↗ (-44.4%)	-33.3% ↗ (-50.0%)	-11.1% ↗ (-44.4%)	-22.2% ↗ (-50.0%)
小売	-10.5% ↗ (-28.6%)	-26.3% ↓ (-20.0%)	0.0% ↗ (-28.6%)	-26.3% ↗ (-33.3%)	-21.1% ↗ (-57.1%)	-31.6% ↗ (-53.3%)	-16.7% ↓ (-7.7%)	-22.2% ↗ (-23.1%)	6.3% ↗ (-8.3%)	12.5% ↗ (-8.3%)
飲食	-26.7% ↗ (-62.5%)	-66.7% ↓ (-20.0%)	-18.8% ↗ (-62.5%)	-75.0% ↓ (-26.7%)	-43.8% ↗ (-75.0%)	-75.0% ↓ (-40.0%)	-62.5% ↓ (-31.3%)	-68.8% ↓ (-20.0%)	-28.6% ↓ (0.0%)	-28.6% ↓ (-13.3%)
サービス	-40.0% ↓ (-26.1%)	-36.8% ↓ (-9.5%)	-41.5% ↓ (-17.4%)	-42.5% ↓ (-22.7%)	-41.5% ↓ (-8.7%)	-42.5% ↓ (-33.3%)	-20.0% ↓ (0.0%)	-23.1% ↓ (-20.0%)	-10.3% ↓ (9.1%)	-5.1% ↓ (-4.8%)
その他	-41.4% ↓ (-40.0%)	-39.3% → (-39.3%)	-50.0% ↓ (-31.0%)	-48.1% ↓ (-35.7%)	-53.6% ↓ (-24.1%)	-57.1% ↓ (-42.9%)	-33.3% ↓ (-32.1%)	-37.0% ↗ (-40.7%)	-17.9% ↗ (-22.2%)	-14.8% ↗ (-26.9%)

＜総評＞ 全業種では、ほとんどのDIで前年度調査時よりも数値は若干良化しているものの依然としてマイナス圏で推移しています。資金繰りの前期比較のみ悪化しています。

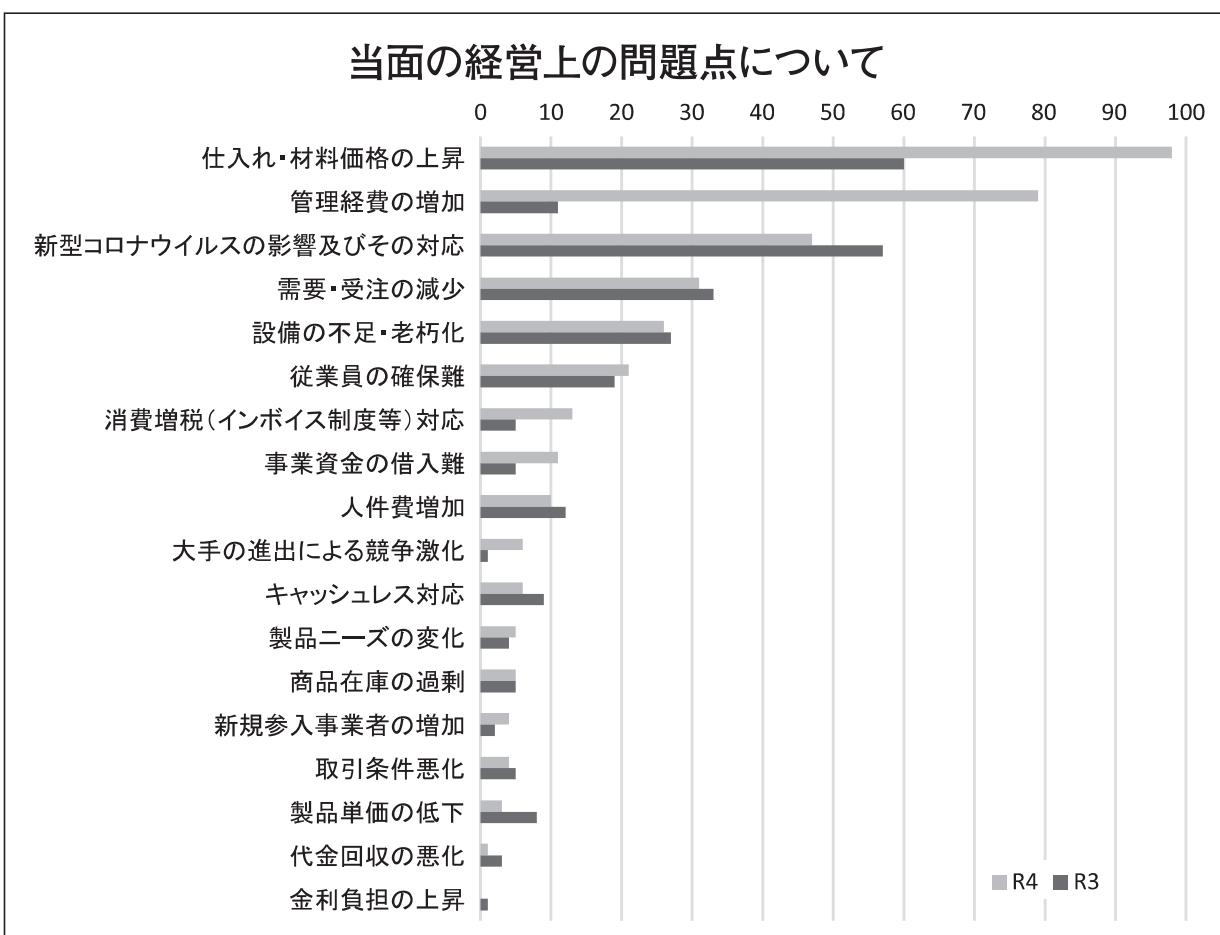
＜業況感＞ 建設と卸売の良化が目を引きます。小売と飲食では前期比較では良化していますが、共に次期見通が悪く、特に飲食の値の大きさが顕著です。

＜売上高＞ 業況感同様建設と卸売が比較的良好く、またここでも飲食は前期比較では良化しているものの、次期見通が大きく悪化しています。

＜営業利益＞ すべての業種で、売上高と同じ傾向が見られます（矢印の向き）が、全体的に売上高よりマイナスの数値が大きくなっています。

＜資金繰り＞ このDIの前期比較のみ前回調査時より悪化している業種が多くなっています。

＜設備投資意欲＞ 全体的に他のDIに比べてマイナスの数値が小さくなっています。



【当面の経営上の問題点】

昨年に引き続き「仕入れ・材料価格の上昇」と回答した事業者が最も多い、また回答率も増加しています。2番目の「管理経費の増加」は、昨年は7番目でしたが、今年は回答数・回答率ともに大きく増加しています。次に昨年2番目の「新型コロナウイルスの影響及びその対応」が続きますが、その回答率は大幅に減少しています。以下は「需要・受注の減少」、「設備の不足・老朽化」、「従業員の確保難」と続き、この傾向は前年調査時と変わっていません。ただし、今年はその次に「消費増税(インボイス制度等)対応」、「事業資金の借入難」が入っています。本年10月からのインボイス制度を間近にして、またコロナ資金の返済開始を控えての回答増と推察されます。

【自由意見】

- イベント出店ができるようになったが、消費者の購入の変化で購買単価が低下している（お歳暮ギフトも2019年比で40%）（小売業）
 - 購買者は、大型ショッピングセンターに行ってしまう。人口減少、顧客の高齢化による客数減が課題（小売業）
 - 電気代の高騰により（年150万円前後高い）、会社をやめようか考えている（サービス業）
 - コロナ前よりも業況はよくなつたが、人材不足が大きな問題となっている（サービス業）
 - 取引先の売上減少及び取引先の減少が深刻（卸売業）
 - 現場労働者の高年齢化が進んでいる（建設業）
 - 材料価格の上昇で工事金額が上がってしまい見積りを出しても受注できない（サービス業）
- その他では、「求人を出しても応募がない」「有資格者(技士)の確保難」「ドライバーの確保難」と人材不足、確保難の声が多く上がっています。

(株)鈴木水産
高木 正之・芝崎 泰司

十年以上勤続表彰

去る2月8日(水)、令和4年度優良従業員表彰式を開催し、8事業所・26名を表彰いたしました。

本表彰事業は、管内の会員事業所より、表彰対象となる従業員の方々をご推薦いただき、当所表彰規程に基づき、当所正副会頭会議において選考・決定し、会頭名で表彰するものです。

表彰式では、吉田三浦市長・草間市議会議長・石川県議会議員より祝辞を頂戴し、鈴木会頭より勤続期間ごとの各事業所代表者に表彰状を手渡しました。また、後援いただいている三浦市・三浦労働基準協会・三浦ロータリークラブの皆様には、式典運営に多大なご協力をいただきました。本年度の優良従業員被表彰者26名をご紹介いたします。

三十年以上勤続表彰

松原 昭一 (有)八百辰
野村 浩之・柳澤三三雄
田中 操・小林 邦泰
山本 拓馬
高梨 巧次 (株)勇信建設
三崎恵水産
操・小林 邦泰
松井隆太郎・宇田川裕三
浜野 裕美 (株)やなぎや
野崎 英章
油壺エデンの園
青山 博・佐々木美江
正木 常子・山本 順子
浜野 裕美 (株)やなぎや
野崎 英章
油壺エデンの園
青山 博・佐々木美江
正木 常子・山本 順子
白澤美智治・岡野 彩
佐藤 稔・蛭田 清
佐藤 稔・蛭田 清
(株)三浦工業所
伊東 尚美
(株)三崎恵水産
白澤美智治・岡野 彩
佐藤 稔・蛭田 清

去る2月8日(水)、令和4年度優良従業員表彰式を開催し、8事業所・26名を表彰いたしました。

本表彰事業は、管内の会員事業所より、表彰対象となる従業員の方々をご推薦いただき、当所表彰規程に基づき、当所正副会頭会議において選考・決定し、会頭名で表彰するものです。

表彰式では、吉田三浦市長・草間市議会議長・石川県議会議員より祝辞を頂戴し、鈴木会頭より勤続期間ごとの各事業所代表者に表彰状を手渡しました。また、後援いただいている三浦市・三浦労働基準協会・三浦ロータリークラブの皆様には、式典運営に多大なご協力をいただきました。本年度の優良従業員被表彰者26名をご紹介いたします。

二十年以上勤続表彰

丹治 良行・吉岡 康夫 (株)やなぎや
伊沢 栄枝
岩元 正章 (株)三崎恵水産
操・小林 邦泰
松井隆太郎・宇田川裕三
浜野 裕美 (株)やなぎや
野崎 英章
油壺エデンの園
青山 博・佐々木美江
正木 常子・山本 順子
浜野 裕美 (株)やなぎや
野崎 英章
油壺エデンの園
青山 博・佐々木美江
正木 常子・山本 順子
白澤美智治・岡野 彩
佐藤 稔・蛭田 清
佐藤 稔・蛭田 清
(株)三浦工業所
伊東 尚美
(株)三崎恵水産
白澤美智治・岡野 彩
佐藤 稔・蛭田 清

丹治 良行・吉岡 康夫 (株)やなぎや
伊沢 栄枝
岩元 正章 (株)三崎恵水産
操・小林 邦泰
松井隆太郎・宇田川裕三
浜野 裕美 (株)やなぎや
野崎 英章
油壺エデンの園
青山 博・佐々木美江
正木 常子・山本 順子
浜野 裕美 (株)やなぎや
野崎 英章
油壺エデンの園
青山 博・佐々木美江
正木 常子・山本 順子
白澤美智治・岡野 彩
佐藤 稔・蛭田 清
佐藤 稔・蛭田 清
(株)三浦工業所
伊東 尚美
(株)三崎恵水産
白澤美智治・岡野 彩
佐藤 稔・蛭田 清

(敬称略)

おめでとうございました。
受賞された皆様の、今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。



令和5年10月から「インボイス制度」が開始されます

- ▶ インボイスとは売手が買手に適用税率や消費税額等を伝えるもので、現行の請求書に「登録番号」「適用税率」「税率ごとに区分した消費税額等」を追記したものです。
- ▶ インボイスを発行するには税務署長に登録申請書を提出し、発行事業者としての登録と登録番号の通知を受ける必要があります。
- ▶ インボイスを発行できるのは、インボイス発行事業者への登録申請を行った課税事業者の方です。免税事業者がインボイス発行事業者になるには、課税事業者へ切り替え、インボイス発行事業者への登録申請を行う必要があります。
- ▶ これまで、原則として2023年3月末までに登録申請することとされていましたが、4月以降でも可能となりました。
- ▶ 免税事業者がインボイス発行事業者となった場合、軽減措置が講じられます。

(詳しくは折込チラシをご覧ください)



相川 周之氏

また、当所金融部会所属1号議員の湘南信用金庫三崎支店より人事異動に伴う議員職務執行者変更の届け出があり、相川周之氏に権 博光氏より相川周之氏に変更になりました。



廣瀬 次郎氏

当所工業部会所属2号議員の新潟造船(株)三崎工場より人事異動に伴う議員職務執行者変更の届け出があり、林 浩輔氏より廣瀬次郎氏に変更になりました。

議員職務執行者 変更のお知らせ

新会員ご紹介

当会議所へ新規加入されました事業所を順番にご紹介しております。

★ 金太郎丸
(釣船・漁業) 三浦市三崎町

★ 美容室 nice HAIR
(美容院) 横浜市中区

池田 金太郎

村田 賢一
(敬称略)

令和5年2月10日現在 会員数 1,575名

金融部会報告

2月14日(火)に開催。

三浦市担当官より『三浦市経済対策利子補給金交付事業の実施結果』について説明。次いで山下専務理事より『市政懇談会・市議会正副議長との懇談会開催結果』について、事務局より『城ヶ島ハイキングコース舗装工事』、『次年度の部会開催日程・担当幹事』、『会議所会員の異動状況』について説明し閉会した。

確定申告指導について

早期景気観測(LOBO)・関東地域

- 今月のDI値…前年同月と比較した今月の水準。
(※先行き見通し…今月水準と比較した向こう3カ月(当月を除く)の先行き見通し。)
- 民間の建設工事は受注数が増加傾向にあり、経済活動の回復が見受けられる。一方、土木工事等の公共工事は減少傾向が続いている。引き続き先行きは不安定な状態が続いている。資材価格の高騰で、価格競争も激しくなっているため、採算も悪くなっている(一般工事業)
- 半導体等の供給制約が緩和され、また為替相場が円高傾向で推移していることで、仕入価格が減少しているため、将来に向けた明るい兆しが見えてきている。業績の大幅な改善は見込まれないが、徐々に改善していくことを期待する(自動車・附属品製造業)
- 物価の上昇により、消費者の購買意欲が低下している。生活必需品を最低限購入するだけとなっており、経営改善が見込まれない(服飾品小売業)

産業別業況DIの推移							
	2022年8月	9月	10月	11月	12月	2023年1月	先行き見通し2~4月
全業種	▲23.4	▲24.4	▲19.5	▲11.8	▲16.6	▲16.8	▲17.7
建設	▲31.3	▲28.8	▲34.9	▲16.7	▲27.4	▲24.7	▲18.5
製造	▲25.2	▲22.3	▲17.5	▲9.8	▲10.7	▲11.5	▲13.9
卸売	▲12.7	▲14.6	0.0	▲5.3	▲12.5	▲10.4	▲6.3
小売	▲27.7	▲33.3	▲25.8	▲16.2	▲30.1	▲25.8	▲24.7
サービス	▲18.0	▲20.2	▲15.4	▲10.0	▲8.4	▲12.6	▲19.7

将棋解答	囲碁解答
① 4四銀	① 一-17
② 同馬	② 二-18
③ 3五桂	③ 一-18
④ 同馬	④ 二-19
⑤ 5三飛	⑤ 二-16
⑥ 同馬	⑥ 三-16
⑦ 3四竜	⑦ 三-17

種としては、卸小売業32件、建設業17件でした。当所では、こうした経済対策について支援要望活動を継続して参ります。各種制度の拡充に向け、引続き会員の皆様の声をお聞かせください。

申請件数は96件で、主な業

本制度は、令和4年10月1日からの3ヶ月間に市内金融機関等から融資(借換融資は対象外)を受けた中小企業等を対象に、借入金の利子の一部(1事業者あたり合計借入金額1,000万円を限度、当該借入金額に係る補給期間の利子相当額(年利1%以内、上限5万円以内))を市が補助する制度です。

今年度は96件の申請
三浦市経済対策利子
補給金交付制度

